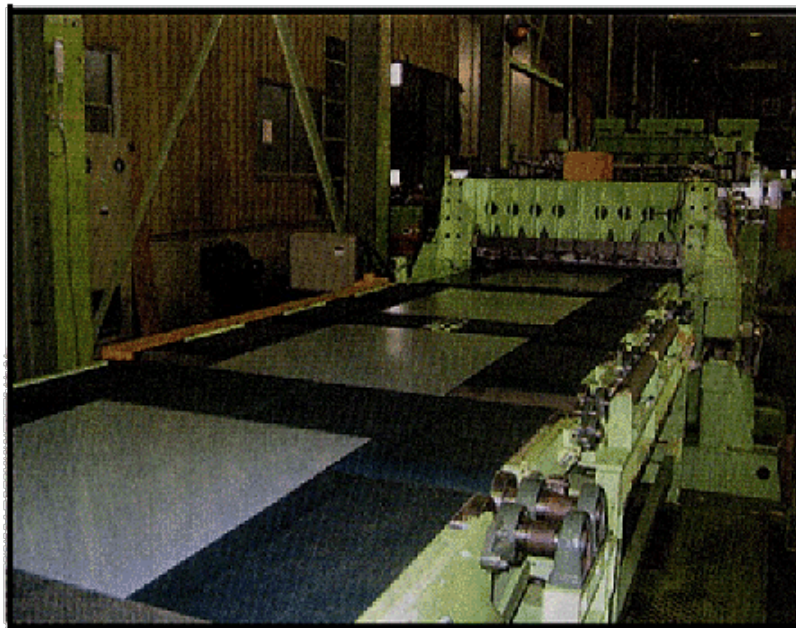


# 根津鋼材

# 大型レベラーを更新

## 品質向上、厚物加工に対応

有力コイルセンターの根津鋼材(本社・東京都荒川区、社長・根津博俊氏)は、須賀川



品質・生産性向上を図った最新鋭レベラー

事業所(福島県須賀川市横山町)のシート加工の品質・精度を向上するとともに厚物対応

力を強化した。最新鋭の大型レベラー・シャシーラインに一新したことによる。レベラー能力が競合する南東北・北関東エリアにおいて品質面と納期対応力で競争力を確保し、CS(顧客満足度)を発揮する狙い。外注依存分の内製化シフトと併せて新規需要開拓にも力を入れる。

須賀川事業所(所長・永山良久取締役)の大型レベラーは、経年劣化で顧客の要求する厳しい平坦度や2・3mm以上の厚物ニーズを満たせずにいた。今回、全面リプレースを

実施。レベラー部分は「6段(6-HIGH)タイプ」で、板厚も最大3・2mmとした。パライラー(シート集積装置)も2連とし、最長5mのシート製品に対応できる。建屋増築工事も含めて総投資額は3億円規模。

生産性の向上も図った。ライン速度を引き上げたほか、レベラーの板厚に応じた最適圧下値を自動調整としたほかシャシーのクリアランス(上刃と下刃の間)調整も自動化。パライラーの長さガイドも自動設定を可能としている。入り側にはア

ンコイラに送るための待機コイルを一度に6個までセットできるよう台車を設置し、出側にはオフライン梱包ヤードを確保してライン全体の物流を改善した。来春には巻き戻しコイルの自動結束装置を入り側に装備する。

品質・能力アップと生産性向上によりライン単体で月産2千トンをめざす。